

「乾しいたけの日」販売PRの実施について

1 はじめに

釜石地方の乾しいたけ生産者は、全国の品評会において、最高位の農林水産大臣賞を受賞するなど、高品質な乾しいたけを生産しているものの、産地としての地元における認知度は低い状況にあります。

そこで、地元消費者の認知度を向上させるため、「乾しいたけの日」に販売PRを実施し、釜石地方産乾しいたけの品質の高さを発信しました。

2 「乾しいたけの日」販売PR

令和3年7月7日(水)、10:00 から18:30まで、イオンタウン釜石において、大槌町の生産者が参加して「乾しいたけの日」販売PRイベントを開催しました。(主催：釜石地方林業振興協議会)



今回のイベントでは、宮古・下閉伊地方原木しいたけ協議会の協力を得て、大槌町及び山田町の3名の生産者が生産した、どんこ、天白どんこ、小葉どんこ、中葉どんこ、贈答

用どんこを販売したほか、スライスしいたけの小袋を無料配布しながらPRを行いました。

今回のイベントで販売品を出品した生産者は、いずれも農林水産大臣賞受賞者であることから、通常目にできないような高品質な商品ばかりが店頭を飾りました。

当日は雨天だったことに加え、イオン恒例火曜市の翌日だったということもあり、客足は少なかったものの、足を止めてくれる方は、商品の質の高さ、原木栽培の良さを理解してくれる方が多く、出品した商品のほぼ全てを売り切ることができました。



3 終わりに

釜石地方では、震災以降初めて、量販店における販売PRイベントを開催しました。

参加した生産者は、直接消費者に対応しながら、自らのしいたけに対する評価を確かめることができ、大きな自信につながったものと思います。